

Top Interview

トップインタビュー

— 変革に挑む —

まとめ／堀水潤一 撮影／内牧依子

池坊ならではの 豊かな感性や創造性を備えた 保育士、幼稚園教諭を育みたい

華

道、茶道など日本の伝統文化に対する社会の見方が変わりつつあることを感じています。「伝統文化離れ」と言われてきたいっぽう、外国の方からクールと評されることも増え、それに伴って若い人たちの興味・関心も高まってきました。

池坊華道の根本理念である「和と美」を建学の精神として1952年に創設された本学も、いけばなが生まれ、550年余りの歴史と伝統の上にあぐらをかくことなく変化し続け、世界に発信していく使命があると考えています。

これまでも華道家元池坊では、「学校華道」として、教育現場でのいけばなの普及に取り組んできました。20

13年に本学のキャンパス内に保育園を開園させたのも、より若い時期から伝統文化に触れてもらいたいという思いからです。今後、こうした、伝統文化を身近に感じられる保育園、幼稚園は増えていくことでしょうか、それを教えられる保育士、幼稚園教諭も必要になってきます。2016年に幼児保育学科を新設する予定なのはそのためです。同学科では、保育と幼児教育の実践力を養うほか、「表現指導研究(いけばな)」「気づきと思考力」「茶の湯と伝統文化」といった独自の科目を学びます。キャンパス内に保育園があるため、日常的に子どもたちと接することができるのも利点です。何より、人として大切なことを

きちんと教えられる人材が育つでしょう。というのも、華道を通じて身につくのは技術だけではないからです。豊かな感性や創造性はもちろん、思いやりの気持ちや、命・自然を愛する心も育まれます。園児はよく「お花さん、こんにちは」と花に語りかけていますが、それは大人も同じ。言葉にこそしませんが、花を通じて自分自身と対話をしたり、鑑賞する人と心を通じ合わせたりするのです。

礼儀作法も身につきます。保育士、幼稚園教諭は、二十歳そこそこでも保護者以上に大人としての振る舞いが求められる仕事です。内面とともに、立ち居振る舞いなど、見た目の美しさも磨いてほしいと思います。

華道はまた、一般の仕事にも通じます。どの素材を選ぶかを考え、どの枝を落とすか判断し、どのように配置すればいいか配慮することは、あらゆる職場で必要です。また、多様な価値観をもった人々を、個性を引き出しながらまとめていくことも、これらの社会で求められます。

幼児保育学科をもつ短大は他にもあり、その意味では後発です。その分、池坊短期大学ならではの保育士、幼稚園教諭を育てたいと思います。

学校法人池坊学園(池坊短期大学) 理事長 谷野光昭



【理事長プロフィール】たにの・みつあき●1952年生まれ。龍谷大学経営学部卒業。76年に日本華道社入社。学校法人池坊学園常務理事などを経て2012年より現職。

【短期大学プロフィール】1952年創立。文化芸術学科(いけばな・花デザインコース、ブライダルプランナーコース、医療クラークコース)、環境文化学科(ファッションコーディネートコース、製菓クリエイトコース、トータルビューティコース、エステティシャンコース)の2学科に加え、2016年に幼児保育学科を開設予定(設置認可申請中)。